

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

看護学校整備事業 学舎 建設工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.8	
Q1 室内環境								3.0	
1	音環境			3.2	0.15		-	3.2	
	1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40		-		
	1.2 遮音			3.6	0.40		-		
	1 開口部遮音性能	開口部遮音性能T-2以上。		5.0	0.30		-		
	2 界壁遮音性能			3.0	0.30		-		
	3 界床遮音性能(軽衝撃源)			3.0	0.20		-		
	4 界床遮音性能(重衝撃源)			3.0	0.20		-		
	1.3 吸音			3.0	0.20		-		
2	温熱環境			2.0	0.35		-	2.0	
	2.1 室温制御			3.0	0.50		-		
	1 室温			3.0	0.60		-		
	2 外皮性能			3.0	0.40		-		
	3 ゾーン別制御性						-		
	2.2 湿度制御			1.0	0.20		-		
	2.3 空調方式			1.0	0.30		-		
3	光・視環境			3.3	0.25		-	3.3	
	3.1 昼光利用			4.2	0.30		-		
	1 昼光率	2.5%≧ [昼光率]		5.0	0.60		-		
	2 方位別開口						-		
	3 昼光利用設備			3.0	0.40		-		
	3.2 グレア対策			3.0	0.30		-		
	1 昼光制御			3.0	1.00		-		
	3.3 照度			3.0	0.15		-		
	3.4 照明制御			3.0	0.25		-		
4	空気質環境			3.9	0.25		-	3.9	
	4.1 発生源対策			4.0	0.50		-		
	1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00		-		
	4.2 換気			3.0	0.30		-		
	1 換気量			3.0	0.33		-		
	2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。		5.0	0.33		-		
	3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.33		-		
	4.3 適用管理			5.0	0.20		-		
	1 CO ₂ の監視						-		
	2 喫煙の制御	ビル全体の禁煙が確認されている。		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能					0.30		-	3.1	
1	機能性			2.5	0.40		-	2.5	
	1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40		-		
	1 広さ・収納性						-		
	2 高度情報通信設備対応						-		
	3 バリアフリー計画			3.0	1.00		-		
	1.2 心理性・快適性			1.5	0.30		-		
	1 広さ感・景観			2.0	0.50		-		
	2 リフレッシュスペース						-		
	3 内装計画			1.0	0.50		-		
	1.3 維持管理			3.0	0.30		-		
	1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-		
	2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-		
2	耐用性・信頼性			3.1	0.30		-	3.1	
	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.8	0.50		-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。		4.0	0.80		-		
	2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-		
	2.2 部品・部材の耐用年数			2.7	0.30		-		
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-		
	2 外壁仕上材の補修必要間隔			1.0	0.20		-		
	3 主要内装仕上材の更新必要間隔			3.0	0.10		-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクトを使用している。		4.0	0.10		-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.20		-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20		-		
	2.4 信頼性			2.4	0.20		-		
	1 空調・換気設備			3.0	0.20		-		
	2 給排水・衛生設備			1.0	0.20		-		
	3 電気設備			3.0	0.20		-		
	4 機械・配管支持方法			3.0	0.20		-		
	5 通信・情報設備			2.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		3.7	0.30	-	3.7
3.1	空間のゆとり		4.0	0.30	-	
1	階高のゆとり	階高: 3.7m以上、3.9m未満。	4.0	0.60	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦[壁長さ比率]<0.3	4.0	0.40	-	
3.2	荷重のゆとり	床荷重: 2900N/m ²	4.0	0.30	-	
3.3	設備の更新性		3.4	0.40	-	
1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	
2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラックにより仕上り材を痛めることなく更新・修繕可能	5.0	0.10	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラックにより仕上り材を痛めることなく更新・修繕可能	5.0	0.10	-	
5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	
6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	
Q3	室外環境(敷地内)配慮		3.0	0.30	-	2.2
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	-	2.5	0.30	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性					3.2
LR1	エネルギー			0.40		3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPim=0.52	5.0	0.20	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	3.0
3	設備システムの高効率化	-	3.0	0.50	-	3.0
	集合住宅以外の評価	-	3.0	1.00	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	
4	効率的運用	-	3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価	-	3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル			0.30		3.0
1	水資源保護	-	3.0	0.20	-	3.0
1.1	節水	-	3.0	0.40	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減	-	3.0	0.60	-	3.0
2.1	材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床の下地・壁の下地: 府内産木材、外壁: 断熱材	4.0	0.20	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	-	3.0	0.20	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避	-	3.3	0.20	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	
3.2	フロン・ハロンの回避	-	3.5	0.70	-	
1	消火剤	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	
3	冷媒	-	3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境			0.30		3.0
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率76%	3.9	0.33	-	3.9
2	地域環境への配慮	-	2.6	0.33	-	2.6
2.1	大気汚染防止	ガス温水給湯暖房機の排出値(NOx)が排出基準値の90%より小さいです。	4.0	0.25	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制	-	2.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮	-	2.7	0.33	-	2.7
3.1	騒音・振動・悪臭の防止	-	3.0	0.40	-	
1	騒音	-	3.0	1.00	-	
2	振動	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	
3.2	風害・砂塵・日照障害の抑制	-	3.0	0.40	-	
1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	
3.3	光害の抑制	-	1.6	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	-	1.0	0.70	-	
2	室光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

看護学校整備事業 学舎 建設工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0	-	1.0	-	-	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -															
透光率 3.7%															
自然換気有効開口面積率 6.9%															
3.1.1 昼光率															
4.2.2 自然換気性能															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性															
執務スペース .0㎡ /人 病床 .0㎡ /床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応															
コンセント容量 0.0 VA/㎡															
1.2.1 広さ感・景観															
天井高 0 m															
1.2.2 リフレッシュスペース															
リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%															
2.2.1 躯体材料の耐用年数															
想定耐用年数 0 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
3.1.1 階高のゆとり															
階高 3.8 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ															
壁長さ比率 20.3%															
3.2 荷重のゆとり															
床荷重 2900 N/m2															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
BPI/BPI _m 0.52 断熱等性能等級 対象外 相当															
2 自然エネルギー利用															
自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡															
探光を満たす教室数 0.0% 探光を満たす住戸数 0.0%															
通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%															
太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
3 設備システムの高効率化															
非住宅部分															
BEI/BEI _m 再エネ有 0.60 無 0.60 オフサイト再エネ有 - 無 -															
集合住宅の評価															
一次エネルギー削減率 再エネ有 無 -															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
雨水利用率 0.0%															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
特定調達品目 断熱材 エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 府内産木材															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
使用比率 0.0%															
3.2.1 消火剤															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)															
オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 3															
3.2.3 冷媒															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															
見付面積比 90% 隣接間隔指標Rw 0.94															
地表面対策面積率 2.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%															
見付面積S _b 757㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 64.34 m 基準高さH _b 13.04 m															
緑地 66㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															